

社会資本総合整備計画書 (愛知県田原市)

平成30年3月

(参考様式2) 社会資本総合整備計画

平成30年3月16日

計画の名称	子育て世代から高齢者まで、楽しく住み続けられるまちづくり										重点配分対象の該当																																	
計画の期間	平成30年度 ～ 平成34年度 (5年間)					交付対象	愛知県田原市																																					
計画の目標	<p>赤羽根市街化区域は、旧赤羽根町の中心として栄えた市街地であり、小中学校、市民館といった公共施設、生活利便施設が比較的にまとまる旧赤羽根町地域の生活拠点である。第一次田原市総合計画においては、田原中心市街地のサブ拠点として、改定版田原市都市計画マスタープランにおいては市街地拠点として、重要な市街地と位置づけられている。しかしながら、全国的な傾向と同様に、定住人口の減少、少子・高齢化が進展している。このまま人口減少が進めば、公共施設や生活利便施設の維持が困難になり、赤羽根市街化区域内だけでなく、周辺地区の生活にも支障をきたす恐れがある。また、人口減少により地域コミュニティの力が弱まることが想定される。平成24年には、住民とともに赤羽根市街化区域の目指すべきまちづくりのあり方を取りまとめた【赤羽根地区まちづくりビジョン】を作成した。また、平成27年度よりビジョンを具現化するため、有志住民による赤羽根地区まちづくり推進委員会が発足し、現在活動を行っている。</p> <p>こうした状況の中、本地区に一体的な未利用地が残る地区があるため、居住環境向上のための整備を行い、未利用地の活用促進を目指す。また、地域コミュニティが維持されるよう、既存の住民主体のまちづくり活動を支援し、子育て世代から高齢者まで楽しく住み続けられるまちを目指す。</p>																																											
計画の成果目標 (定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> 居住環境の向上によって地区内の宅地化を推進し、地区内人口の減少を抑制し、現状の人口を維持する。H28 : 1,751人 ⇒ H34 : 1,751人 道路整備や公園整備、河川改良を行うことによって、地区住民の建設・整備分野への満足度は上昇する。H29 : 12.7% ⇒ H34 : 15.0% 道路の整備や河川の暗渠化を通じて、安心して歩くことができる環境が整備されることによって道路整備箇所の歩行者数は増加する。H29 : 64人 ⇒ H34 : 92人 赤羽根市街化区域の中心に公園が整備され、また地域住民とのワークショップにより地元へ愛される公園を整備することによって利用率は上昇する。H29 : 26.3% ⇒ H34 : 52.6% まちづくりに対する意識の向上や人のつながりを維持形成することによって、まちづくり活動への参加人数を増加させる。H28 : 100人 ⇒ H34 : 230人 																																											
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H28当初)</th> <th>中間目標値 (H32末)</th> <th>最終目標値 (H34末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地区内人口の維持 (人) 調査範囲: 赤羽根市街化区域 調査数値: 都市計画基礎調査の値</td> <td>1751</td> <td></td> <td>1751</td> <td></td> </tr> <tr> <td>建設・整備分野への満足度 (%) 調査範囲: 赤羽根市街化区域 調査数値: 地区へのアンケート調査値</td> <td>12.7</td> <td></td> <td>15.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>道路整備箇所の歩行者数の増加 (人) 調査範囲: 道路整備箇所 調査数値: 歩行者及び自転車交通者の数</td> <td>64</td> <td></td> <td>92</td> <td></td> </tr> <tr> <td>公園利用率 (%) 調査範囲: 赤羽根市街化区域 調査数値: 公園に関するアンケート調査</td> <td>26.3</td> <td></td> <td>52.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>まちづくり活動への参加人数 (人) 調査範囲: 赤羽根市街化区域 調査数値: 赤羽根地区まちづくり推進委員会を主体とする活動への参加年間延べ人数</td> <td>100</td> <td></td> <td>230</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>												定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H32末)	最終目標値 (H34末)	地区内人口の維持 (人) 調査範囲: 赤羽根市街化区域 調査数値: 都市計画基礎調査の値	1751		1751		建設・整備分野への満足度 (%) 調査範囲: 赤羽根市街化区域 調査数値: 地区へのアンケート調査値	12.7		15.0		道路整備箇所の歩行者数の増加 (人) 調査範囲: 道路整備箇所 調査数値: 歩行者及び自転車交通者の数	64		92		公園利用率 (%) 調査範囲: 赤羽根市街化区域 調査数値: 公園に関するアンケート調査	26.3		52.6		まちづくり活動への参加人数 (人) 調査範囲: 赤羽根市街化区域 調査数値: 赤羽根地区まちづくり推進委員会を主体とする活動への参加年間延べ人数	100		230	
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																																								
	当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H32末)	最終目標値 (H34末)																																									
地区内人口の維持 (人) 調査範囲: 赤羽根市街化区域 調査数値: 都市計画基礎調査の値	1751		1751																																									
建設・整備分野への満足度 (%) 調査範囲: 赤羽根市街化区域 調査数値: 地区へのアンケート調査値	12.7		15.0																																									
道路整備箇所の歩行者数の増加 (人) 調査範囲: 道路整備箇所 調査数値: 歩行者及び自転車交通者の数	64		92																																									
公園利用率 (%) 調査範囲: 赤羽根市街化区域 調査数値: 公園に関するアンケート調査	26.3		52.6																																									
まちづくり活動への参加人数 (人) 調査範囲: 赤羽根市街化区域 調査数値: 赤羽根地区まちづくり推進委員会を主体とする活動への参加年間延べ人数	100		230																																									
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	230百万円	A	230百万円	B	0百万円	C	0百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.0%																																
交付対象事業																																												
A 基幹事業																																												
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考																											
A-1	都市再生 整備計画	一般	田原市	直接	田原市	赤羽根市街地地区	道路L=780m、公園A=800㎡、河川改良、まちづくり活動推進事業	田原市	H30	H31	H32	H33	H34	230																														
									合計									230																										
B 関連社会資本整備事業 (該当なし)																																												
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考																											
									H30	H31	H32	H33	H34																															
									合計																																			
C 効果促進事業																																												
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考																													
									H30	H31	H32	H33	H34																															
									合計																																			
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																																												
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考																													
									H30	H31	H32	H33	H34																															
									合計																																			
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考																																

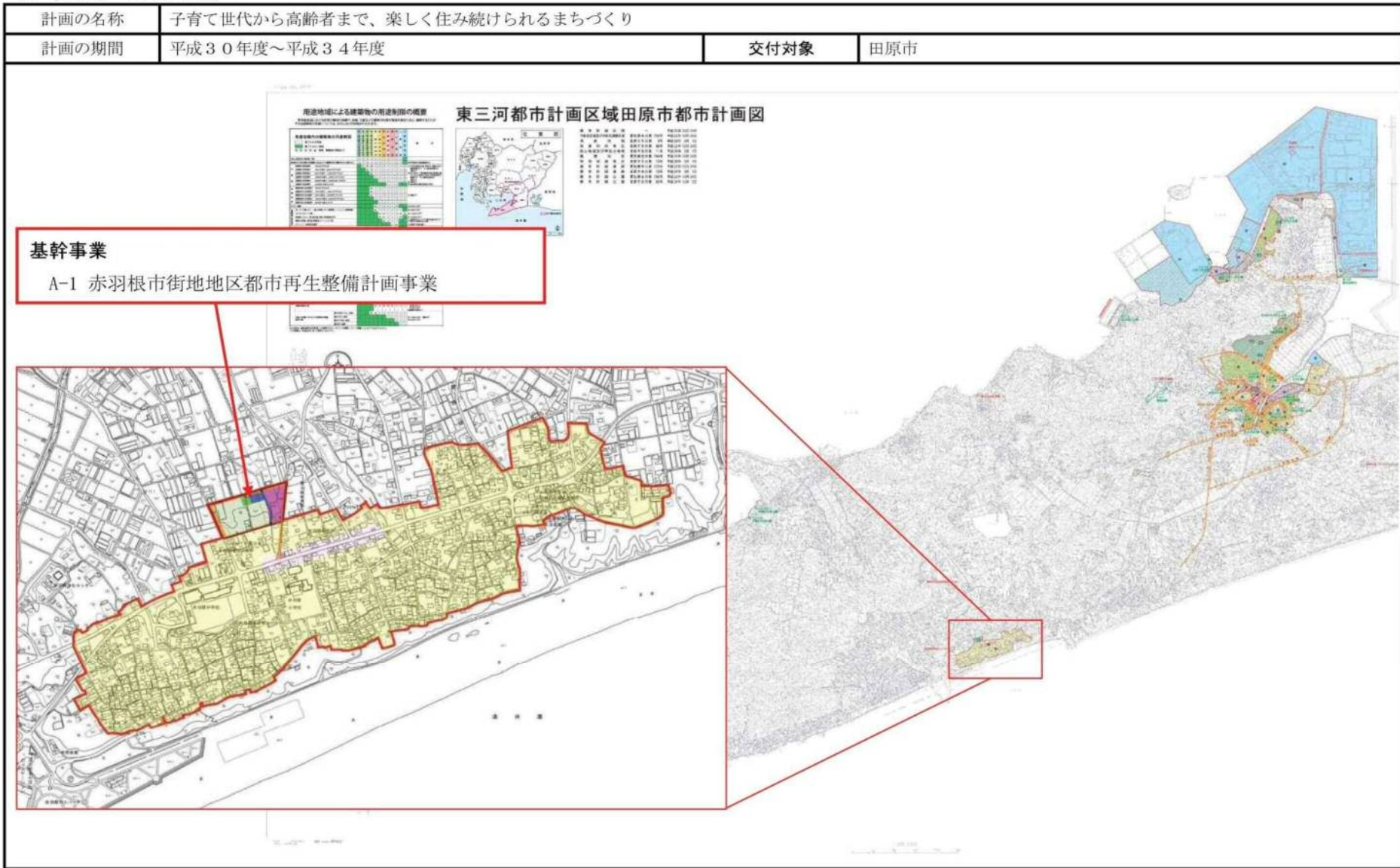
交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H30	H31	H32	H33	H34
配分額 (a)					
計画別流用 増△減額 (b)					
交付額 (c=a+b)					
前年度からの繰越額 (d)					
支払済額 (e)					
翌年度繰越額 (f)					
うち未契約繰越額 (g)					
不用額 (h = c+d-e-f)					
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	#DIV/0!				
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由	-				

※ 平成30年度以降の各年度の決算額を記載。

(参考図面) 市街地整備



社会資本整備総合交付金チェックシート

(都市再生整備計画事業等タイプ)

計画の名称: 子育て世代から高齢者まで、楽しく住み続けられるまちづくり 事業主体名: 田原市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①都市再生基本方針との適合等	
1)まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
2)上位計画等と整合性が確保されている。	○
②地域の課題への対応	
1)地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
2)まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1)目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2)指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3)目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
4)指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
5)地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
④事業の効果	
1)十分な事業効果が確認されている。	○
2)事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意	
1)まちづくりに向けた機運がある。	○
2)住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
3)継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
⑥円滑な事業執行の環境	
1)計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2)交付期間中の計画管理(モニタリング)を実施する予定である。	○
3)計画について住民等との間で合意が形成されている。	○